



羽白館

やればできる!



令和5年6月22日
長崎市立深堀小学校
学校だより 74号
校長 桑原 重久

みんなの好きな楽しい学校

「深堀っ子の心を見つめる教育週間」開催中

今週は「深堀っ子の心を見つめる教育週間」です。この期間中は、全学年、すべての教育活動を公開し、子どもたちの学びの姿をご覧いただいています。コロナ禍も開けつつある今、もとの教育活動を取り戻しつつあります。19日(月)の初日から、保護者や地域の皆様、中学校の先生方にご来校いただいています。

また、20日(火)には、「被爆体験講話」を開催しました。講師には被爆当時は4歳だった「伊藤武治」さんをお招きして、全校児童で、被爆当時の様子についてお話を伺いました。

伊藤さんは、誕生から終戦までの生活を振り返ると、物心ついたときは、すでに戦争中で、大きくなるにつれ、後になって原子爆弾投下や戦争について、大変なことが起きていたことに気づかれたそうです。そして、この体験を語り継ぐことで、「人としてどう生きていくべきかを考えてほしい。」との思いで、お話しくださいました。被爆体験については、今の小学生までが「直接話を伺うことができる最後の世代」と言われています。この被爆体験講話の意義は大きいと考えます。ご家庭でも今一度、私たちは「平和都市・長崎市民」であることもふまえ、「平和」の大切さについて語ってください。

6月24日は「土曜授業」

6月24日(土)は、全校一斉の「授業参観・学級懇談会」です。下校時には、「引き渡し訓練」も予定しています。多くの保護者の皆様の参観をお待ちしています。

授業参加の際は、感染症予防のため、「私語・会話」について「厳禁」とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

また、参考までに、授業参観の際は、子どもたちの学習の様子について、以下の点について見ていただくようお願いします。

- ①正しい姿勢で座っている。(斜め向きや、椅子漕ぎをしていないか)
- ②机の上が整っている。(不要な物がないか、教科書・ノートの斜め置きや重なりがないか)
- ③教師の話を、目を見て聞いている。(手混ぜや、ながら聞きをしていないか)

※この3点は、授業に集中できているかを見る視点です。学習へ向かう大切な態度です。

7月の主な行事予定 ※7月は「ココロねっこ運動強化月間」です

- 4日(火) 2年生 食育指導
- 5日(水) 特別日課スタート(～7日)
- 13日(木) クラブ活動
- 14日(金) 5年生平和キャンドル作り
学校保健委員会(12:50～)
- 18日(月) 6年生修学旅行説明会
- 20日(木) 一学期終業式
- 24日(月) 個人面談週間スタート

今年は4年ぶりに、「深堀中学校生徒ペーロン大会」が開催されると伺いました。先日は、深堀地区のペーロン競漕大会も開催され、地域の伝統行事が戻ってきていることが嬉しい限りです。

育成協の話合いでは、夏休み期間中の「サマースクール」も復活するとのことでした。地域で子供を見守る深堀地区の温かさを感じています。

